

北九州空港機能強化・利用促進等調査特別委員会記録（No. 3）

1 日 時 令和8年4月16日（木）

午後1時30分 開会

午後2時10分 閉会

2 場 所 第4委員会室

3 出席委員（9人）

委員 長	上 野 照 弘	副 委 員 長	渡 辺 修 一
委 員	佐 藤 栄 作	委 員	西 田 一
委 員	小 松 みさ子	委 員	富士川 厚 子
委 員	山 田 大 輔	委 員	大 石 正 信
委 員	伊 崎 大 義		

4 欠席委員（1人）

委 員 森 結実子

5 出席説明員

港湾空港局長	倉 富 樹一郎	空港企画部長	黒 岩 亮
空港機能強化担当部長	須 山 孝 行	空港企画課長	今 村 優
空港魅力向上担当課長	上 田 玄志郎	空港機能強化担当課長	田 中 啓 之
			外 関係職員

6 事務局職員

政策調査課長	井 村 公 洋	政策担当係長	田 中 康 雄
書 記	小 野 佳奈子		

7 付議事件及び会議結果

番号	付 議 事 件	会 議 結 果
1	委員席について	別紙配席表のとおり決定した。
2	北九州空港の更なる利用促進及び物流機能のあり方について外1件	1月15日に行った現地視察について、委員間で意見交換を行った。
3	北九州空港に関する福岡県及び近隣自治体との連携のあり方について	令和8年5月19日に福岡県庁へ調査に行くことを決定した。

8 会議の経過

(伊崎委員が挨拶を行った。)

(4月1日付人事異動に伴う人事紹介を受けた。)

○委員長（上野照弘君） それでは、開会いたします。

初めに、委員席についてお諮りいたします。委員席は現在着席のとおりとすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に、本委員会の所管事項のうち、北九州空港の更なる利用促進及び物流機能のあり方について及び北九州空港の運営形態のあり方についてを一括して議題といたします。

本日は、1月15日に行いました北九州空港の現地視察について委員間で意見交換を行います。視察で感じた所感や課題、改善策などについて発言をお願いいたします。本日の意見交換の内容については、所管事務調査の委員会報告書の中で反映させていきたいと考えています。

なお、今回は委員間での意見交換となりますので、執行部に対する質問については事実確認など必要な範囲でお願いいたします。

それでは、意見や提案などはございませんでしょうか。小松委員。

○委員（小松みさ子君） この前、空港に行かせていただいて、まず、駐車場が広くて使いやすいは思うんですけど、空いているのが分からなくて、行ったら通路だったということもあるので、駐車場の空いている、空いていないがもう少し分かりやすいとありがたいかなと思いました。宮崎空港にこの前行かせていただいたんですけど、宮崎空港は空いているところと空いていないところで赤と青のランプがついている形で、それで分かりやすいようになっていたので、そういう形で分かりやすくしていただけると、もう少し利用しやすくなるのではないかなと思いました。

あと、すしの都ということで北九州は打ち出しているんですけども、北九州空港、玄関口でありますので、もう少しアピールしているといいかなと思いました。北九州のおすしはこう

いう形でおいしいんだよとか、もし可能ならば、ちょっとつまめるとか、そういうコーナ的なものがあると、もう少しすしの都ということに対してアピールができるのではないかなと思いました。

また、あとは体験スペースみたいな、行って楽しむ、空港を楽しむということはないのかもれないんですけど、地元にしたら、北九州空港ちょっと行ってみようかなという思いになるような工夫もしていただけると、もう少し利用客も増えていくのではないかなと感じました。よろしくをお願いします。以上です。

○委員長（上野照弘君） 小松委員、御意見ありがとうございます。今回は委員間での意見交換ということでありますけれども、今の駐車場の件とすしのPRと楽しめる空港ということで、何か執行部からお答えするようなことがあれば、お答えいただければと思いますけれども、いかがでしょうか。空港魅力向上担当課長。

○空港魅力向上担当課長 委員が今おっしゃられた御意見ですけれども、たくさんのお客様からも同様な御意見等いただいております。駐車場に関しては、満空表示といいまして、ホームページで空き台数ですとか何台ありますよといったところはあるんですけども、どこが空いているといったところが分からないとか、あと、長期の旅行から帰ってきたときにどこに止めたのか分からないといったような御意見もいただいているところです。今後、さらに空港を利用しやすいような工夫づくりといったところにつきましては、いただいた御意見、しっかりと受け止めまして検討してまいりたいと考えております。以上です。

○委員長（上野照弘君） ありがとうございます。実は、私も空港に車止めましたらどこに止めたか分からなくなるんで、写メを撮って飛行機に乗るようにしております。ほかに先日の視察で感じられたこと、委員間でお話しできればと思いますけれども、何かございませんでしょうか。山田委員。

○委員（山田大輔君） お疲れさまです。山田です。1月、見学させていただいて、4点ほど思ったことがありました。今このサイドブックスにも入っていますが、まず1つは空港の魅力づくりかなと思います。先日の20周年のお祭り、皆さんお疲れさまでした。大変にぎわっていてよかったと思うんですけども、旅客、非旅客の割合として、どれだけ北九州空港に来ていただくかということで、私、福岡空港がピアガーデンをやっていたということもあって、常日頃から、北九州空港に来ると飛行機の発着が見れて楽しめる場所があるぞとか、今度、実は博多の新幹線の基地の前、那珂川の基地の前に新幹線の公園ができた、那珂川市が造ったのがある。グリーンとモーヴィもこの間若松にできましたけど、何か似たようなことがあると人のにぎわいができるんじゃないのかなとか。熊本空港もそういうところという人が何げなく来れる場所というところで、近づくことができるのかなと思って見ていました。やはり旅客数を伸ばさないといけない。便数掛ける10万人程度というところがあると思いますので、旅客、非旅客ともに伸ばす魅力向上が必要じゃないかなと思ったのが1点目。

そのために、2つ目はやはりアクセスが必要だなというところがありまして、東九州新幹線をはじめ在来線の別ルートであったりとかがありはするものの、今の中でどう伸ばすのかというと、朽網駅に特急が16本止まり出したものの、まだまだそれだけじゃいけないんじゃないのかな。八田先生から以前御提案があった新駅を造るということは今の中での最適解に私はなるのではないのかなと思うので、今レベル2で多分自動運転されていらっしゃると思いますが、レベル4にできる限り早く上げてもらって、レベル4のバスすら観光資源になり得るというものづくり方をしたほうがいいのではないかなと思いました。

3点目は、そのあたりも含めてなんですけれども、皆さんがより利用しやすいというところを求めるためにも、貨物に振るのか旅客に振るのかはしっかり明確に、両方得られるんだったら両方得たほうが良いと思うんですけど、その区分けというか、行政として、福岡県としっかり連携する必要があると思いますし、今度意見交換がありますけれども、福岡空港の今ベリ一便で載っている貨物を全部こっちへ持ってくるぞぐらいの勢いなのか、あふれた旅客をこっちでもらうぞなのか、そういうテーマ分けをしっかりとした上で、福岡県や近隣自治体との連携が必要ではないかなというのをより感じました。以上です。

○委員長（上野照弘君） ありがとうございます。貴重な御意見だと受け止めます。ほかにございませんでしょうか。西田委員。

○委員（西田一君） 委員長に事前に御相談、特にしていないんで恐縮なんですけど、副委員長にもね。今、山田委員が軌道系の話をされたと思うんですけど、議会でも、我々だけではなく、ほかの会派も含めて軌道系については質問や提案があっていると思うんですけど、東九州新幹線まで視野に入れた軌道系のアクセスについて、せっかく3,000メートルに滑走路延伸になって、空港そのものの機能は当然上がるわけなんですけど、やはりアクセスが重要かなと思っています。例えば委員会として、いつ頃までをめどに、2年というか、実質あと1年なのかな、それか今任期中なのかな、今任期中じゃ遅いか。どこかをめどに、東九州新幹線を含めた軌道系アクセス、これをしっかり委員会として提言するというか、各会派の合意、議会全体の合意を得るためにも委員会で提言するというのを考えないといけないんじゃないかなと思うんですけど、皆さんいかがですかね。

○委員長（上野照弘君） 今、期限を定めた、東九州新幹線を含めた軌道系に対する特別委員会からの提言をしてみようというところでございますけれども、御意見ございませんでしょうか。僕は、非常に大切なことではないかなと思います。この特別委員会がある存在意義の目的にもなり得る課題なのかなとも感じますけれども。西田委員。

○委員（西田一君） すいません。正式に各会派に委員会として協議をお願いしてということなんかもいずれ必要なのかなと思うんですけど、共産党さんとか東九州新幹線は駄目ですか。

○委員長（上野照弘君） 大石委員。

○委員（大石正信君） 採算ですね。

○委員長（上野照弘君）西田委員。

○委員（西田一君）採算が。

○委員長（上野照弘君）大石委員。

○委員（大石正信君）持ち帰って検討にはなります。採算は。

○委員長（上野照弘君）西田委員。

○委員（西田一君）採算ですよ。当然、採算は。

○委員長（上野照弘君）山田委員。

○委員（山田大輔君）特別委員会ですから、西田先生がおっしゃるとおり、この委員会がある意義というものを考えると、そういう提言を出すほうが私もいいのではないかな。もちろん会派に持ち帰って話はしますが、ある意義としては提言を出す必要性はあるのかなと思っておりますので、僕はそこに個人的には賛同したいと思います。あと、よく思うんですけど、その中でもよくあるんですが、私も今年の2月議会で一般質疑させていただきましたけど、軌道系のお話、私の場合は在来線パターンということで考えていましたけど、200万人を令和10年までに目指すと、令和10年度までに目指すと言われたのかな、という中で、昨年度は恐らく140数万人もいったのかな、人数でいうとそこまでなかった。170万人台に過去いったことがある中で、最後の一押しというところで特急停車だったとは認識しているんですけども、要は令和10年までに200万人をどうやって目指すのかというのも含めて、セットで、ゴールはありながらもマイルストーンをしっかりと置きながらやっていくというのが必要だと思いますので、その一つとして提言はかなり重要だと思います。

○委員長（上野照弘君）ありがとうございます。副委員長、提言をするという委員会として目標を定めてということで。

○委員（渡辺修一君）公明党としても、空港が活性化というか、盛り上がっていくと都市の発展にもつながっていきますし、アクセスを拡充していくというのは非常に重要な部分であると思っております。それと、経済港湾委員会ではなかなかそこまで一歩踏み込んだことができませんので、空港特別委員会の意義も含めて、そこは私も進めていくべきだと思っております。

○委員長（上野照弘君）ありがとうございます。北九州会、伊崎さん、今日から入られたということでありますけれども。

○委員（伊崎大義君）私も個人としては賛同するところなんですけども、会派として統一した見解は改めて持ち帰ってからお伝えできればと思います。ちなみに、今の内容としては提言をまず出すかどうかで、提言の中身については、これからこの中で議論していくってことですね。その点については基本的には賛同する方向になるとは思いつつ、会派の見解は改めてお伝えさせていただきます。

○委員長（上野照弘君）ありがとうございました。思いのほか、いい方向に話が進みまし

た。ありがとうございました。ほかに何か御意見等ございませんでしょうか。富士川委員。

○委員（富士川厚子君） 日頃見れない物流倉庫の中とかも当日見せていただいて、こんなふうになっているんだとか、荷物入れる物の大きさとかも、物流で使うということの大きさを改めて感じました。空港全体としては、レストランとかに入っている人が少ないかなというのを感じ、自分が北九州空港に行ってもそんなに確かにレストラン使わないかなと思ったり。使っていますけど、毎回使っていないなって思ったり。あそこの2階の待合のところで待つ方と、早々に入って中で待つ方が多いかなって思ったら、そこは何が足りないのかな。ビジネスで来ているから。ファミリーとかだったらあそこで御飯食べるけど、ビジネスの人は缶コーヒーとかそんなのもいいのかなとか、そう思ったら、スタバを入れてみるとか、小さいところはありますけど、持って入れるとか、そういうカジュアルな身近な飲食というのもあってもいいかなと思います。空港って広いじゃないですか。自分も歩いてみて広いなと思ったんですけど、今、LUUPとかのレンタルの自転車を外とかに置いておけば、ちょっと早く来たら、海の通りとかを自転車で走ったりとかLUUPで行くって気持ちいいと思うし、今、学生とかもちょっとした距離でもすぐレンタルの自転車借りて、小倉駅から図書館までとかで使ったりとか、結構身近だなって思う。例えばそれで朽網駅まで行く人も、荷物が軽い人は行くかもしれませんし、それも一つのアクセスなのかなと私は感じたんですけど。やっぱりアクセス、空港で待っている時間の使い方、あと空港にどうやって行くかとか、自転車好きな人とか体鍛えている人は自転車でも絶対行くんじゃないかなとも思いますし、私もなるべくこれから公共交通機関も2回に1回は利用して空港に行ってみて、便利なところとか、どうなったらいいのかなというのを自分自身も体験してみたいなと改めて行って思いました。

あと、視察のときに空港のところの信号の文字が消えているってどなたかにお伝えしたら、この前見たらきれいになっていたんで、ありがとうございました。以上です。

○委員長（上野照弘君） 富士川委員、ありがとうございました。ほかに御意見等ございませんでしょうか。それでは、ちょっとここでもよろしいですか。

（委員長と副委員長が交代）

○副委員長（渡辺修一君） 上野委員。

○委員（上野照弘君） 執行部に事実確認のところ教えてほしいんですけども、北九州空港の貨物にはコールドチェーンというところはないですよ、青果物を扱ったりというのは。

○副委員長（渡辺修一君） 空港企画課長。

○空港企画課長 コールドチェーンの御質問です。北九州空港、貨物上屋の中にリーファーコンテナといまして保冷が可能な倉庫がございますので、そういったものを使いながら生鮮物の取扱いは一部可能ということになっております。以上でございます。

○副委員長（渡辺修一君） 上野委員。

○委員（上野照弘君） ありがとうございました。僕はそこだけです。

(副委員長と委員長が交代)

○委員長(上野照弘君) ほかに御意見等ございませんでしょうか。どうぞ、お願いします。
伊崎委員。

○委員(伊崎大義君) 私、視察に伺えていなくて恐縮なんですけど、先日、台湾の高雄の空港に伺ったときに、空港にAIで外国語も認識してコミュニケーションが取れるロボットがありました。北九州も今、ロボットのまちとして、安川電機さんもありますし、黒崎駅のロボットとかもいつも外国の方の注目を集めていらっしゃるんで、空港にいらっしゃる方に北九州のロボットというところをアピールできないかなと思うんですけど。一時期、実証実験で実際に空港でアバターロボットを活用されたりもしていたと伺ってまして、その辺が今どうなっているか、これから活用について何か検討されているか教えていただきたいです。

○委員長(上野照弘君) 空港魅力向上担当課長。

○空港魅力向上担当課長 AI等を活用したアバターですとかバーチャルでの対応といったところ、具体的なスケジュールで公表できるものは今のところはないんですが、空港の中でも、これからインバウンドのお客様が多く来られることになりますので、多言語表記とかといったところで新たなAIの活用ですとか、あと、時間帯も夜間の時間帯、インフォメーションがありますけれども、人対応といったところは時間の制約がありますので、早朝、深夜でも対応できるように、どういったものができるかといったところは今検討を行っているところでございます。以上です。

○委員長(上野照弘君) 伊崎委員。

○委員(伊崎大義君) すいません、私のお伝えの仕方が悪くて、多言語のところも大事なんですけど、どっちかというところ、ロボットに強いまちであるというところを空港の部分からもっとアピールできないかなと思ってまして、その辺は、実際に空港の中でロボットを走らせて、やってきた方が触れ合えたりみたいなことは、検討はないでしょうか。

○委員長(上野照弘君) 空港魅力向上担当課長。

○空港魅力向上担当課長 案内ロボットというほかに、今、空港の中に導入しようとしているのが清掃ロボですね。他空港でも導入の事例はあるんですけども、清掃を兼ねて保安、要は警備といったところも同時に行うようなロボットだとか、そういったロボットの活用といったところは今検討しているところでございます。以上です。

○委員長(上野照弘君) 伊崎委員。

○委員(伊崎大義君) そういう点も大事だと思いますし、あとは、黒崎駅に今、改札入ったところでおみくじか何かできる安川のロボットがありますよね。あれすごくいつも皆さん記念撮影されているので、そういう感じで何か一つ、空港降りたらロボットが出迎えてくれて、それ自体がコンテンツになるようなものも市内企業と協力すればできる余地はあるんじゃないかなと思っていて、そういったこともぜひ今後検討いただきたいなと思っています。以上です。

○**委員長（上野照弘君）** ありがとうございます。ほかに御意見、御提案等はございませんでしょうか。西田委員。

○**委員（西田一君）** すいません、一度に終わらず。空港と直接関係ないんだけど、東九州新幹線の話、先ほど、すいません、忘れていまして。これ相当危機感を持ってやらないといけない。というのは、東九州新幹線が必要だと思っていらっしゃる方は間違いなくそうなんだけど、当然、いろんな地域で新幹線未整備のところは活発に動いている中で、我々としては小倉駅を起点としての東九州新幹線というのが大前提であって、そのために周辺自治体の議会との連携ですよね。委員長はもう個別に連携されているんで、ここは主に日豊線沿線の自治体議会との連携を密にした上で、各自治体議会において東九州新幹線の必要性を、国であったり地域であったり、県もそうなんですけど、これを協力して訴えていくということも非常に効果あると思うし、大切なことだと思います。この間、どこかの会合で福岡県議会の藏内議長もおっしゃっていました。主体的に活発に新幹線の整備についての議論、それから国に対する要望、そういったことをやらないと取り残されてしまうという危機感を持って、繰り返しになるけど、他の自治体議会との連携と協働、これも早いうちに委員長、副委員長、リードしてやっていただきたいなと思います。

○**委員長（上野照弘君）** 御意見ありがとうございます。佐藤委員。

○**委員（佐藤栄作君）** 僕も視察行っていなかったんで恐縮なんですけど、最近よく、北九州空港のエアポートバス、これが増便されてよくなったんじゃないかという声もあるんですけども、一方で、バスの待機場所の環境の改善、これについてもいろんな声が上がっていると思います。例えば、夏であれば暑いし、冬であれば寒いし、そういう待機場所の環境を整えていくということもサービスの向上という観点からは必要なんじゃないかなと思います。

それと、旅客の利用者が飛行機を降りてスムーズにエアポートバスに乗れるような状況をつくってほしいなというのもあります。長時間、次のバスが来るまで待たないといけないということもストレスになると思いますので、できるだけ待機する時間を短くしていくために、西鉄バスさんとの当然連携も必要だろうと思いますし、新しい何かしらの技術を活用することによって、そうしたニアミスみたいなところを改善するというのもできるんじゃないかなと思っています。執行部として、こうした待機場所の環境の改善だったり、今言ったバスの乗り合わせというんですかね、こういったところの問題についてどのように把握をして、もし改善しなきゃいけないと考えているんだったら、どんな手を打っていかうと考えているのか教えていただきたいと思います。

○**委員長（上野照弘君）** 空港機能強化担当課長。

○**空港機能強化担当課長** 委員おっしゃられました待合環境の部分につきましてですけども、確かに風とか雨とか暑い、寒いというところで、バスの待合環境に関するそういった意見というのは承知しているところでございます。空港ビルのバス停ですが、西鉄バス北九州さん

と協議して、例えばバスを、バスの出発時間より早くバス停に着けていただいで、待たれているお客さんに先に乗り込んでいただくとか、そういった工夫もしていただいているんですけども、待合環境の改善につきましては今後も交通事業者さんと話を進めて、ビルのところであれば国が所有している部分もありますし、あと小倉駅とか朽網駅とか、そういったところについて改善の検討を関係者と進めてまいりたいと考えてございます。以上でございます。

○委員長（上野照弘君） よろしいですか。ほかに御意見、御提案等ございませんでしょうか。大石委員。

○委員（大石正信君） 初めて裏側に回って、バックヤードのところというのは普通見る機会もないし、なかなかテレビでもああいうのは見たことないですよ。ああいう形で検疫官がおられて、あれだけの人がおられるのを初めて見ました。普通、宅急便を頼んで玄関に来るしか見ていないから、ああいう形で空港から貨物が来て、それからヤマト宅急便が流れているという形で来たんで。空港の倉庫を利用して、キャンプですかね、やってみたいなことを言われたんで、それはそれとしてバックヤードを見るような視察というか、そういうのも一つビジネスというか、子供たちの教育とかになるのかなど。特に、那覇空港に行ったときに、観光になっているということで、空港で働く人たちをどう育てていくのかということでありましたよね。そういう意味でいえば、空港にもっと、旅客だけじゃなくて、興味を持ってもらうというか、今日のあれじゃないけど、ボートレーサーやキャビンアテンダントになるとか、操縦士になるとかいうのもあるのかなと思って。なかなかそういう裏側というのがなかったんで、貴重な機会になったんで、ああいう形で子供たちの中に入れていくというのが、一つのビジネスとしても成り立つのかなと思いました。

旅客も大事ですけども、北九州空港は貨物がかなり伸びているんで、そういった意味ではそのところを重視されていくことが必要かなと思いました。

あと、3階にレストランというか食堂があったんで、なかなか3階まで行かないなというのがね。2階の土産物市場は物すごく充実していると思ったんだけど、3階にどう行ってもらうか。3階にあんなふうにレストランがあるというのも私あまり知らなかったし、その辺の工夫がね。中に入っていただけだから、素通りするという状況なんで、そこら辺のところの工夫が要るのかなと思いました。以上です。

○委員長（上野照弘君） 大石委員、ありがとうございました。ほかに御意見、御提案ございませんでしょうか。佐藤委員。

○委員（佐藤栄作君） 僕も視察に行ってバックヤード見学したかったんですけど、何で僕も欠席したか覚えていない。風邪引いたか、インフルエンザか。別にさぼっているわけじゃないんですけど、見たかったなというのがあって。例えばユーチューブとかでバックヤードを動画にしているやつとかあるじゃないですか。北九州空港は既にそういうのがあるのか分かんないんですけど、そういうのがあると非常に興味も湧くし、例えばこんなところで働いてみたいなど

か、そういうきっかけにもなるのかなって思うので、もしそういう動画とかがないんだったら、ぜひバックヤードのそういったものを作ってもらいたいなって思いました。終わります。

○委員長（上野照弘君） 佐藤委員、ありがとうございました。国際貨物を扱うところを見せていただいたんですけども、麻薬がないかみたいな調べる人もたくさんいらっしゃって。気楽に我々はSHEINとか海外のサイトをポチッと押しているけど、届くまでにはかなりの苦労を経て届いているんだなと目の当たりにさせていただいて、本当にいい機会をいただいたと、改めてこの場でも感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。空港企画部長。

○空港企画部長 今日は貴重な御意見たくさんいただき、ありがとうございました。西田委員からも東九州新幹線の提言という御提案をいただきましたので、我々も港湾空港局だけじゃなくて都市戦略局を巻き込んで、オール北九州でいろいろ考えたいなと思っていますので、また、その際に意見交換させていただきたいと思います。それと、東九州新幹線だけの提言じゃなくて、我々としては旅客、貨物の利用促進を図った上で東九州新幹線につなげていって、さらに地域の自治体の方々との連携の仕方のあり方、あと空港の経営のあり方等々含めた意見交換をさせていただいて、そのうちの一つの提言が東九州新幹線だということに持っていきたいなと思いますので、今後も貴重な御意見をいただいて意見交換させていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員長（上野照弘君） 黒岩部長、ありがとうございます。山田委員。

○委員（山田大輔君） 今回の意見交換とは別なんですけど、ちょっと要望がありまして、今こっこのパソコンで北九州空港の将来ビジョンのホームページ出しているんですけど、まだMRJの話がコメントで載っているんですよ。MRJ、多分もう終わっていますよね。なので、2026年1月20日に更新されているにもかかわらず、この文言が載っているのはどうなのかなと。過去に出した将来ビジョンであることはもちろん分かるんですけど、ファイルに何年現在とか書いてあると、見る人が見たら細かいところを指されると思うので、そのあたりを変更してもらえたらいいかなと思いますので、ごめんなさい、これちょっと要望だけで終わります。

○委員長（上野照弘君） よろしいですね。ほかになれば、以上で意見交換を終わります。

次に、本委員会の所管事項のうち、北九州空港に関する福岡県及び近隣自治体との連携のあり方についてを議題とします。

当初、2月6日に福岡県庁に福岡県における北九州空港に関する事業概要の調査に行く予定でしたが、これが延期となっていました。このため、再度日程調整を行った結果、5月19日に調査に行きたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

御異議なしと認め、そのように決定いたしました。なお、議員派遣要求書を議長宛てに提出

しますので、御了承願います。また、視察終了後に視察内容について委員間で意見交換を行い、委員会報告書に反映させていく予定ですので、よろしくお願いたします。

ほかになれば、以上で調査を終わります。本日は以上で閉会します。

北九州空港機能強化・利用促進等調査特別委員会	委員長	上野照弘	㊟
	副委員長	渡辺修一	㊟